

平成27年度 学校総合体育大会 大会要項

1. 主催 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県学校体育協会
2. 後援 (公財)埼玉県体育協会 熊谷市教育委員会
3. 主管 埼玉県中学校体育連盟 ソフトテニス専門部
4. 期日 平成27年 7月18日(土) 男女個人戦1日目 (熊谷さくら運動公園16面) 延期日は19日
 7月19日(日) 男女個人戦2日目 (熊谷さくら運動公園16面) 延期日は28日以降
 7月25日(土) 男子団体戦1日目 (熊谷さくら運動公園16面) 延期日は27日
 7月26日(日) 女子団体戦1日目 (熊谷さくら運動公園16面) 延期日は27日以降
 7月27日(月) 男女団体戦2日目 (熊谷さくら運動公園16面) 延期日は28日以降
 7月28日(火)・30日(木)・31日(金) 予備日

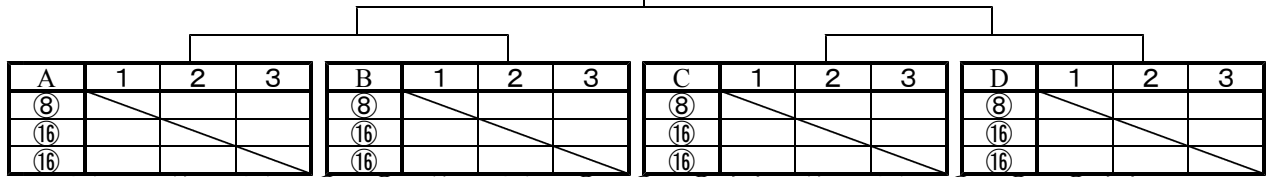
5. 会場 熊谷さくら運動公園 (オムニ12面・クレー4面)

6. 時間 (1) 個人・団体1日目 受付開始9:00 開会式9:20
 - (2) 個人・団体2日目 受付開始9:00 開始式9:30
- ※個人・団体2日目は受付終了後、コートでの練習を行うことができます。

今年度のみ受付開始を9:00とします。
雨天判定 6:20 (各地区の常任委員)

7. 試合 (1) 個人戦
 - 1日目 ◎トーナメントでベスト16 (進行状況によってはベスト32) まで選出する。
 - 2日目 ◎トーナメントで決勝まで行う。
 - ◎ベスト4に入ったペアは関東大会への出場決定、3・4位決定戦を行う。
 - ◎ベスト8とベスト16に入ったペア (12ペア) で4ブロックに分かれリーグ戦を行う。試合順は下記の通りとする。各ブロック1位のペアで下記の通り、順位決めの試合を行い5～8位の順位を決定する。
 - ※同校は同じブロックに入れない。
 - ※当日試合をしたチームは、同じブロックには入れない。

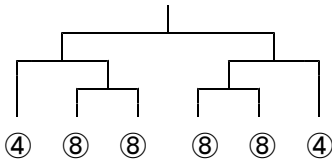
《関東大会出場決定リーグ及び5～8位決定戦》



※試合順 第1試合 (16-16) 第2試合 (8-16) 対(16)敗者) 第3試合 (8-16) 対(16)勝者)

- (2) 団体戦 3ペア対抗トーナメント (4ペアエントリー)

- 1日目 ◎トーナメントでベスト8まで選出する。
- 2日目 ◎トーナメントで決勝まで行う。
- ◎決勝まで進出した2チームは関東大会への出場決定とする。
- ◎ベスト4とベスト8の6チームによる3・4位決定トーナメントを行い、3・4位の2チームが関東大会への出場権を得る。
- ◎このトーナメントの1回戦はベスト4と反対のブロックのベスト8同士の対戦となり、抽選は行わない。
- ◎これで勝ち上がった2チームが3位表彰となる。
- ◎3・4位 (通過順位) 決定戦も行う。



8. 組み合わせ (1) 個人戦は、常任委員一任、代表者会議 (7月8日) の3日後ホームページで発表する。

<http://www.saitama-chuu-softtennis.org/>

※なお氏名、学校名等の文字の訂正は下記のところへ FAX で連絡してください。

蓮田市立蓮田南中学校 松永秀則 FAX 048-769-2027

- (2) 団体戦は、常任委員会でベスト8までシードし、他は抽選とする。但し、同一地区から二校以上出場している場合は、同一ブロックに入らないよう配慮する。

9. 試合ボール (1) 個人戦は男女ともケンコー (2) 団体戦は男女ともアカエム
- ※関東大会に準じる

10. その他 (1) 開会式前、会場コートでの練習は一切できません。
 また、早く到着しても7時過ぎまでは会場に入ることができません。
- (2) 駐車場などの会場周辺でのボールを使用しての練習は一切できません。
- (3) 役員・補助員の生徒以外の方は、開場前に入場しないでください。
- (4) 熱中症対策・駐車場対策ため、個人戦1日目は登録選手のみでの来場 (1ペアにつき一人までの補助生徒可) とし、借り上げバスでの来場を禁止とさせていただきます。団体戦1日目は大型借り上げバスでの来場を禁止とさせていただきます。

専門委員長	金井讓二	さいたま市立宮原中学校	学校Tel	048-663-0961
副委員長	鈴木 顕	横瀬町立横瀬中学校	学校Tel	0494-22-0684
副委員長	山田利成	所沢市立所沢中学校	学校Tel	04-2922-4138

☆大会留意事項☆

- 大会当日の受付は、必ず監督が行う。
(外部コーチのある場合は、大会参加申し込み書に明記する。)
- 選手変更は、**職印**のある書類で行う。
(選手変更・監督変更届・監督追加届・外部指導者変更及び登録届はHPにアップしてあるものをダウンロードしてご利用いただくと便利です。)
○個人戦・団体戦共に書式は特にありません。
○当日の朝、発熱等の理由で選手変更をする場合は、とりあえず**職印**の無いものを提出し、後日速やかに**職印**のあるものを提出する。
- 開会式に参加しない選手は、原則として出場を認めない。
○交通事情により遅れそうな場合は、緊急連絡先に必ず電話連絡する。
- 服装は、ユニホーム上下、シューズ、ソックス、帽子、ハチマキ等、関東大会の出場規定に準ずる。
○ソックスの長さはくるぶしより上で、ハイソックスは禁止とする。
シャツの裾は必ずパンツ・スカートの中に入れる。
○選手の磁気ネックレスなど、アクセサリとみなせるものは着用・使用を禁止する。
(医療上必要な場合は、当日書類で届け出ること)
- 県名、学校名、個人名の入ったゼッケン(3段)を必ず背中につけること。
無い場合は、原則として出場を認めない。
- ベンチコーチは、奇数ゲームの後と最終ゲームの前に1分以内で行うことができる。
○この場合、前のゲームのボールがデッドになってから次のゲームが始まるまでの1分である。
○その他の場面などで、ブロックサインによる指示は厳禁とする。
- ボールは、選手が拾い、拾った選手が相手に渡す。
- 監督は、必ずテニスシューズを履き、上着も襟付きのシャツを着用する。(Tシャツは不可)
- 団体戦のベンチに入る監督(自チームNo.のもの)・外部指導者(通しNo.のもの)は、受付時にIDカードを受け取り、会場内では常に着用すること。
- 個人戦のベンチに入る監督として、2ペア以上の出場に対応するために教員の人数を追加する場合は、「追加監督届け」を当日の受付に提出すること。なお、必ずIDカードを着用すること。
- 選手・監督・応援者とも試合中相手をやじることは厳禁とする。
○団体戦のベンチにおいて、アップのためにベンチを離れて立っている選手は応援に参加してはならない。立って一斉応援に参加していたら、1回目はアンパイヤーからの注意、2回目はイエローカードの提示で警告となる。
- 選手、応援者等のマナー・生活面については、その学校の教師が責任を持って指導すること。
- 進行の都合上、団体戦の一部(初戦からの場合も含む)が2面展開となることがある。
- 日傘は白、グレー、シルバーその他プレーに支障をきたす色は使用しない。
- ラケットのストリング(ガット)は単一色とする。(スパイラル・ハイブリッドは不可)
- その他、本部の指示に従うこと。

☆審判について☆

- 個人戦について
○各コート第1試合の審判は、第3試合以降の試合の監督(顧問教員)に依頼する。
大会受付の時に確認する。
○監督(顧問教員)は、必ず審判をできるようにしておく。監督(顧問教員)が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。
その際は、**代表者会議当日**または大会当日に必ず本部に申し出ること。
○1校で2ペア以上が大会に出場する場合は、監督ができるよう配慮する。
○第2試合以降の審判は、敗者ペアの審判でベスト16決めまで行う。
2日目の初戦(ベスト8決めの第一試合)は審判役員の審判で行う。
○準々決勝は、ジュニア審判に審判させることなく敗者監督審判で行うものとし、入れない場合は常任委員が替わって行う。
○準決勝、決勝は、常任委員が審判を行う。
○関東大会の出場チームを決めるための試合の審判は、当日本部より指示する。
- 団体戦について
○監督(顧問教員)審判で行う。副審は生徒で行う。
○監督(顧問教員)は、必ず審判をできるようにしておく。監督(顧問教員)が、当日どうしても引率できず、ソフトテニス部以外の教師が引率の場合は、審判を免除する場合があります。
その際は、**代表者会議当日**または大会当日に必ず本部に申し出ること。
○準決勝の正審は常任委員、副審は敗者監督(ジュニア審判は審判しない)で行うものとし、入れない場合は常任委員が替わって行う。
○決勝は、正審、副審とも常任委員が行う。
○関東大会の出場チームを決めるための試合の審判は、当日本部より指示する。
- 個人戦・団体戦共に、出場選手が「ジュニア審判」を取得している場合は、監督審判を免除するので、**出場選手**が審判を行って下さい。その際は、必ずワッペンを身に付けること。
- 個人戦・団体戦共に、審判台にストップウォッチ・電子ホイッスル・イエローカードを置くので必ず使用すること。
○45秒で1回目のホイッスルを鳴らし、1分で2回目のホイッスルを鳴らす。
○2回目のホイッスルを鳴らしても選手がコートに入らない場合は、イエローカードを出す。

☆ゼッケンについて☆

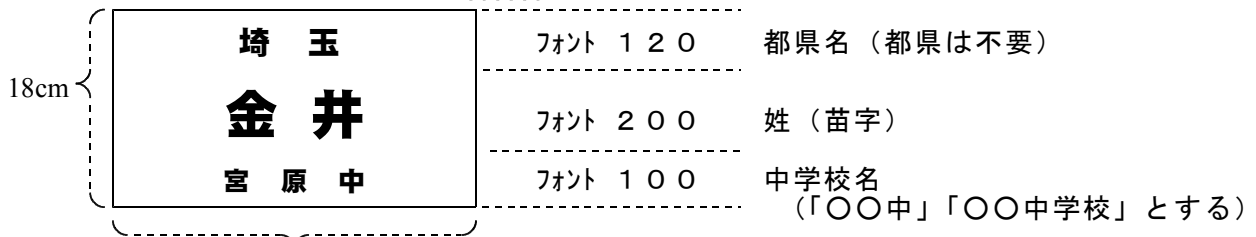
背中 of ゼッケンを各校で別な布などで作成し、背中に四隅を縫いつけること。ただし、脱着しやすいようにホック・マジックテープで止めることは可とする。安全ピンは不可とする。すでにプリントされている文字は隠すように止め付けるものとする。

- ① ゼッケンはB5版横（白地）の大きさの布に都県名、姓、学校名を記述する。都県名の「都県」はつけないものとする。学校名には「中」の文字をつけることを原則とする。
- ② ゼッケンの文字は特大ゴシックが望ましい。「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③ 都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために工夫をしてもよい。都県ごとに望ましい表記をする。
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一文字を付け加える。
- ⑤ 中学校名が、第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、《例2》のように学校所在地を付記してもよい。

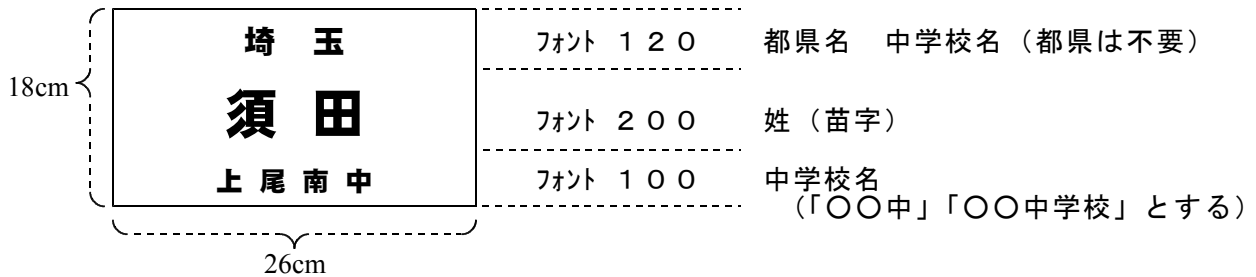
【選手のゼッケン】

B5版 白の台布に黒文字で記入（特大ゴシック体が望ましい）

《例1》 埼玉県 さいたま市立宮原中学校 金井 譲二



《例2》 埼玉県 上尾市立南中学校 須田 治茂



※現在使っている2段ゼッケンも使用可とする。（新人大会より不可）
※文字数が多い場合は、見やすい範囲でポイント数を調整してください。

☆緊急対応について☆

ホームページ <http://www.saitama-chuu-softtennis.org/> に掲載されている「危機対応マニュアル（中体連ソフトテニス専門部用）」をご覧ください。